

ギラン・バレー症候群（GBS）、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の可能性のある症例一覧※

資料1-6

（平成22年11月30日までの報告分）

※選択基準

- ・GBS/ADEMの副反応名で報告された症例
- ・重篤副作用マニュアル③GBSの項に基づき、副反応名として「しびれ、脱力感、神経障害、筋力低下、物が飲み込みにくい」といったタームで報告された症例
- ・上記タームが経過欄に記載のある症例

医療機関からの報告

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)	専門家の意見
1	30代・女性	無	ワクチン接種10時間後、入浴後に腫れ、熱感あり。左肘～左指先のしびれ感が出現。ワクチン接種翌日朝、腫れ、しびれが悪化。ワクチン接種2日後夜からd-クロルフェニラミンマレイン酸塩4mg、プレドニソロン10mgを服用。ワクチン接種3日後、しびれ感なし。ワクチン接種4日後、赤み、かゆみなし。	左肘～左指先のしびれ	非重篤	化血研L41B	回復	副反応として否定できない	○注射した局所の皮膚反応があり、その部位の遠位に症状が起していることから、関連性を全く否定することはできない。しかし通常ギランバレーは運動系症状を主体とするもので下肢遠位から始まる。本例のように一肢のみというのは先ず考えにくい。腱反射の状態や髄液なども調べる状況にはなかつたと考えられるが、情報がない。またかなり短期で終息している点も通常のギランバレーとは異なる。 ○投与直後の出現、また投与側の症状であり、数日で軽快していることから、局所部位反応によるものと思われる。GBSは否定的です。 ○注射部位の局所反応は関係あるかもしれない。GBSは時間的にも、症状からも否定できる。
2	30代・男性	無 ワクチン接種歴あるが、異常なし。	ワクチン接種8日後、38℃台の発熱出現にて蕁麻疹服用。その後、一時的な頭痛、咽頭痛あり。ワクチン接種11日後、咳出現にて受診。気管支炎の診断にて、アジスロマイシン水和物、アセトアミノフェン、ソファルコン、セラペプターゼ、アンブロキシソール塩酸塩、ジヒドロコデインリン酸塩・dl-メチルエフェドリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩処方。ワクチン接種12日後、午前、頰の筋力低下出現。徐々に飲み込みづらさ、手足の力が入らない症状出現。夕方、他院にてギランバレー症候群の診断。ワクチン接種13日後、球麻痺出現にて気管内挿管し、呼吸管理中。γ-グロブリン大量療法実施中。	ギランバレー症候群疑い	重篤	北里研FC031B	調査中	副反応として否定できない。GBSの可能性を否定できない	○接種から発症までの期間から考えてワクチンの誘発作用を否定できない症例と考える。 ○経過からして、GBSの可能性が否定できないものと思われます。
3	40代・女性	無	ワクチン接種5時間30分後、左腕の全体的な腫脹と熱発、一過性の左手のしびれ、一過性の軽度の呼吸苦、37.3℃の熱、咽頭痛、食欲不振が出現。ワクチン接種3日後、生化学・血液・尿検査を行ったところ異常なし。生理食塩水、グリチルリチン・システイン・グリシン配合剤、メチルプレドニソロン、アセトートリンゲル液点滴。ワクチン接種4日後、軽快。	左腕の全体的な腫脹と熱発等	非重篤	デンカ生研402-A	軽快	副反応として否定できない	○よく見られる局所反応の強い例と考えられる。 ○投与直後の発症でもあり、症状も一過性であり局所症状と思われます。GBSは否定的です。
4	20代・女性	風邪による内服治療中。既往歴・基礎疾患・合併症なし	ワクチン接種翌日夜より四肢の振戦出現。数日経過しても改善は認められず。接種4日後、再受診し、両手の振戦を認める。発熱、その他の神経学的異常は認められず。神経内科へ紹介。頭部MRI、脳脊髄液検査、血液・生化学検査はいずれも異常なし。他の基質的疾患を疑わせる所見も確認されず。ワクチン接種8日後、手の振戦は時々あり。ワクチン接種18日後、振戦消失の連絡あり。	四肢の振戦	非重篤	化血研L52B	回復	因果関係不明	○不安や精神的緊張からのような印象もある。 ○症状は振戦であり、投与直後でもありGBSとは考えにくい。因果関係の判定は困難です。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)	専門家の意見
5	60代・男性	無	ワクチン接種翌日、左手のしびれ感、むくみ感、脱力、全身のふらふら感あり。GBS症状(教科書的な症状:上気道の炎症、左右対称性、筋力の低下が急速に上方へ進行、呼吸器症状等)はなく、関連検査、治療も未実施。症状は10分程度で消失。	上肢の脱力、しびれ	非重篤	化血研 L44A	回復	副反応として否定できない	○ 症状は一般的局所症状のようで、本人の不安がそれを増悪させている印象あり。接種翌日から起こり、10分で収まっていることからGBSではない。 ○ 投与翌日の症状でもあり、全身症状と思われます。投与とは反対のようですので、局所症状ではないと思われます。
6	80代・女性	脳梗塞後遺症にて長期入院	ワクチン接種当日、夕方、左半身しびれ、軽度麻痺、意識レベル軽度低下出現。CTにて著変ないが、脳梗塞再発を疑い他院へ搬送。ワクチン接種16日後、入院中。	調査中	重篤	化血研 L43C	未回復	情報不足	○ MRIで脳梗塞だったのかそうではなかったかの決定が必要。 ○ 報告の通り、発症時期や原疾患からも、GBSではなく脳梗塞の再発の可能性があります。
7	30代・女性	無	ワクチン接種3日後、左半身上下肢のしびれ出現。同日、他院受診。	左半身上下肢のしびれ	非重篤	デンカ生研 404-A	未回復	情報不足	○ 情報不足 ○ 詳細が不明であり、評価困難です。ただ、発症が少し早くGBSは否定的かと思われます。
8	70代・女性	脊柱管狭窄症の合併症あり。メコバミン、リマプロストアルファデクス使用中。	ワクチン接種前、異常なし。ワクチン接種5日後、全身の筋肉痛と胸の苦しさを訴え、受診。心筋梗塞を疑い、胸部XP、ECG、採血を行ったところ、胸部XP、ECGに異常なく、CPK1785、心筋トロポニンT正常のため筋炎と診断。ワクチン接種6日後、38°Cの発熱、前額・頭部・背部に紅斑出現。ワクチン接種16日後も四肢の筋痛あり。	多発性の筋炎	非重篤	デンカ生研 398-B	未回復	因果関係不明	○ 単なる横紋筋融解か、筋炎か、経過をみていく必要あり。 ○ 投与後の発症、CKも高値であり本剤との因果関係を否定できませんが、筋炎としてよいかは情報不足のため評価できません。症状はGBSとは考えにくいと思います。
9	70代・女性	基礎疾患として被曝症、既往歴として脳梗塞あり。ワクチン接種歴あるが、異常なし。	ワクチン接種前、異常なし。ワクチン接種1日後、歩行不能で受診し、同日入院。白血球15000/mm ³ 。感染症を疑い、ピペラシリンナトリウム投与。同日入院したが、ワクチン接種2日後、歩行可能、呼吸障害なし。	歩行不能	非重篤	微研会 HA101B	回復	因果関係不明	○ ワクチンは関係ない感染症だったかもしれない。 ○ 投与翌日の発症であり、また症状はすぐに軽快しているので、GBSとは考えにくいと思います。歩行不能の理由がわかりませんので、因果関係不明とします。全身症状(その他の副反応として)、発熱などあり歩行困難になったのかもかもしれません。
10	10代・男性	無	ワクチン接種2時間後、嘔吐出現。その後、昼寝。ワクチン接種4時間後、起床時、ふらつき、ぼーっとする症状出現。ワクチン接種9時間後、症状改善なしにて受診。意識障害なし。四肢脱力あり。ワクチン接種9時間30分後、輸液実施。血液検査、CT等実施するも異常なしにて経過観察。開始液でルート確保し、退院まで維持液点滴実施。ワクチン接種翌日、朝、意識あり、顔色良好、四肢脱力改善にて退院。	筋緊張低下・反応性低下発作	重篤	微研会 HA099A	回復	副反応として否定できない	○ 情報不足 ○ 投与直後の症状でもあり、輸液などですぐに回復していることから、倦怠感などの全身症状かと思われます。GBSは否定的です。
11	40代・女性	基礎疾患として関節リウマチあり。抗リウマチ剤使用中。ワクチン接種歴あるが、異常なし。	ワクチン接種約20分後、悪心、しびれ感、脱力感出現。血圧146/92mmHg、脈拍75、呼吸困難なし。ワクチン接種約1時間後、しびれ感、脱力感はほぼ消失。	血管迷走神経反射	非重篤	デンカ生研 404-B	軽快	副反応として否定できない	○ 症状のいくつかは記載されている局所症状であり、一部はそれに対する反応であるかもしれない、後者の原因のひとつとして血管迷走神経反射を考えてもよい。 ○ 投与直後の症状であり、すぐに回復しており注射による迷走神経反射の可能性が高いと思います。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)	専門家の意見
12	50代・女性	無	ワクチン接種後夕食時、左鎖骨部に違和感あり。ワクチン接種1日後起床時、接種部位に筋痙攣、その後左肩から顔面に頭重感あり。検査は未実施。		非重篤	デンカ生研 413-A	不明	調査中	
13	10歳未満	基礎疾患として熱性けいれん、てんかんあり。(熱性けいれんはワクチン接種3年前、2年7ヶ月前、2年1ヶ月前にあり、てんかんはワクチン接種1年8ヶ月前に発症)バルプロ酸260mg服用中。昨年、季節性と新型インフルエンザワクチン接種したが、異常なし。	ワクチン接種当日、深夜、けいれん出現にて救急外来受診。抗けいれん薬投与。その35分後、けいれん停止。その後、39℃の発熱、意識障害、けいれん群発出現にて急性脳症と診断。髄液検査とCT検査は異常なし。脳波は3回測定し、活動性の低下、徐波、右からの脳波振幅の減弱あり。ステロイドパルス、免疫グロブリン投与、脳保護薬投与実施。解熱、けいれん回復。意識障害継続。ワクチン接種6日後、MRIにて両側前頭葉、右半球の広範囲に異常認め、けいれん重積型脳症と診断。高度の認知・運動機能障害の後遺症あり。	けいれん重積型脳症	重篤	北里研 FB026A	後遺症	副反応として否定できない	○ けいれんを起こしたことは原疾患から生じたことと区別できないが、その後の経過はワクチンとの関与を否定できない。 ○ もともとてんかんがあり、痙攣後に39度の発熱をみている。なんらかの感染があり、発熱が誘因で痙攣重積状態にいったと考ええる。
14	80代・男性	基礎疾患として前立腺肥大症、便秘、不眠あり。シロドシン、センソンド、生菌整腸剤(ピオラクト)、ソルピデム酒石酸塩服用中。ほぼ毎年のインフルエンザワクチン接種時、副反応歴なし。	ワクチン接種4日後、血圧上昇、左上下顔面筋麻痺出現にて脳外科受診。脳MRIにて特発性左顔面神経麻痺と診断。ワクチン接種10日後、ステロイドにて治療中。	早発性左顔面神経麻痺(ベル麻痺)	重篤	北里研 FB022A	未回復	因果関係不明	○ たまたま生じたこととの区別は困難。 ○ 接種4日後の事象で、ADEM、GBSには短しいし、両者のいずれかといえる根拠もない。ワクチン以外の要因が大きい。
15	30代・女性	無	ワクチン接種12日後、体のだるさ、力が入らないとの訴えあり、受診。急性経過の複視、しゃべりにくさ、飲み込みにくさ、左上肢筋力低下、左病的反射陽性、左Barre徴候陽性、頭部MRIによる増強効果を伴う散在性の白質病変(右側頭葉、脳幹、左側脳室下角中心)から急性散在性脳脊髄炎が疑われた。髄液検査、ウイルス検査は異常なし。現在、精査入院中。	急性散在性脳脊髄炎(疑い)	重篤	北里研 FB024A	未回復	副反応として否定できない。ADEMの可能性を否定できない	○ 関与は否定できないと考えられる。 ○ 時間的にみても、またMRI所見からもADEMの可能性が高い。
16	60代・女性	無	注射針を刺した際のしびれ感なし。ワクチン接種中に左手第1から4指にしびれ出現し、ワクチン接種約5分後にしびれの程度が最大。ビタミンB12処方し、徐々に改善。ワクチン接種4日後、回復。	しびれ	非重篤	デンカ生研 404-A	回復	副反応として否定できない	○ 注射そのものによる。 ○ 注射の局所反応として関連性は否定できない。GBS、ADEMは否定できる。
17	10代・男性	無	ワクチン接種後、何が何だかわからなくなって店にはいり、品物を取ったため警察の取り調べを受けた。その後、特に異常なし。治療や処置もなし。	脳症の疑い	非重篤	デンカ生研 399-B	回復	情報不足	○ 情報不足 ○ 本人の訴えのみで客観性がない。
18	50代・女性	無	ワクチン接種当日、接種部位の痛み、発赤あり。ワクチン接種1日後朝より左上腕の腫脹、発赤、疼痛、力が入らない等の症状あり。ワクチン接種10日後、症状改善しないため整形外科受診。	橈骨神経の炎症	重篤	化血研 L42C	不明	情報不足	○ 確かに上腕外側に橈骨神経は走ってはいるが、この記載だけでは橈骨神経麻痺かどうか不明。 ○ 橈骨神経の炎症の根拠は症状からも根拠がない。GBS、ADEMは否定できる。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)	専門家の意見
19	40代・男性	無	ワクチン接種7日後、39℃以上の発熱出現。ワクチン接種10日後より握力低下し、ワクチン接種12日後、左右の握力は10kg。筋電図は正常。	39℃以上の発熱 その他の神経障害	非重篤	デンカ生研 406-B	軽快	調査中	
20	20代・女性	基礎疾患として、統合失調症あり。 アリピプラゾール、セルトラリン塩酸塩、エテゾラム、クエチアピンフマル酸塩、プロチゾラム、モサプリドクエン酸塩、耐性乳酸菌製剤服用中	ワクチン接種後より、ビリビリ感あり。局所の腫脹、痛みが徐々に出現。ワクチン接種2、3日後、腫脹は消退、接種部位より末梢のしびれ、脱力は悪化。ベンゾチアミン、トコフェロール酢酸エステル処方。ワクチン接種3日後、神経内科受診。麻痺等なく、ワクチン接種5日後、軽快。	接種部位より末梢のしびれ、脱力	非重篤	デンカ生研 398-B	回復	因果関係不明	○ 局所反応と思われる。 ○ しびれ、脱力について臨床情報が少なく、判断できない。GBS、ADEMは否定できる。
21	60代・女性	交通事故外傷にて閉頭術シャントの入っている患者。症候性てんかん(16年以上てんかん発作なし)バルプロ酸ナトリウム400mg内服中	ワクチン接種1日後、強いけいれん出現。頭部CT検査を行ったが異常なし。ジアゼパム坐薬使用したが変化なし。けいれんと意識障害が5時間遅延。発熱、体調不良なし。	けいれん	重篤	化血研 L43C	回復	副反応として否定できない	○ 関係は否定できないと思われる。 ○ ワクチンが誘因になって、痙攣を起こした可能性は否定できない。しかし、もともとてんかんがあるので、因果関係は不明である。
22	70代・女性	C型肝硬変、肝癌あり。	ワクチン接種2日後、左指Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ末節部のしびれ出現。C型肝炎の加療医よりビタミン剤の処方あり。症状の改善が認められず、ワクチン接種8日後、接種医再診。	左前腕部末梢性神経障害	非重篤	北里研 FB024C	未回復	調査中	
23	10歳未満	低血糖あり。ワクチン接種数日前から感冒症状あり。	ワクチン接種翌日朝、うめき声と数秒のけいれんあり。意識なく、救急搬送。JGSⅢ-300、血糖値15mg/dl。ブドウ糖投与後、意識回復。ワクチン接種4日後現在、風邪症状にてフロモキシセフナトリウム投与中。	低血糖	重篤	化血研 L56A	回復	調査中	
24	40代・女性	無	ワクチン接種日夕方より頭痛、両肩部の疼痛、39℃の発熱のため、救急外来を受診し、経過観察目的で入院。入院時、意識混濁と著明な下肢優位の脱力、腱反射の消失あり。ワクチン接種翌日、解熱、意識消失は改善したが、下肢脱力は残存。髄液検査の結果、蛋白乖離疑い。臨床所見より、ギラン・バレー症候群疑いと診断。メチルプレドニゾン投与を施行。ワクチン接種、2日後歩行可能となり退院。ワクチン接種6日後も発熱・筋力低下等の症状なし。	その他の神経障害	重篤	微研会 HA102A	軽快	調査中	
25	10歳未満	無	ワクチン接種当日夕方、熱発あり。夜、40.4℃。ワクチン接種翌日朝、36℃台に解熱。ワクチン接種後、振戦、充血あり。副反応に対する検査、投薬なし。	39℃以上の発熱	非重篤	北里研 FB024B	回復	調査中	
26	70代・女性	無	ワクチン接種1時間30分後、振戦、チアノーゼ出現。近医受診。経過観察のため入院。ワクチン接種日以降症状なし。	振戦、チアノーゼ	非重篤	化血研 L49B	回復	調査中	
27	80代・女性	心筋梗塞、虚血性心疾患の既往あり。	ワクチン接種7日後、起き上がりにくい、座ることができない、物忘れが多くなるといった症状が出現。ワクチン接種17日後、神経内科紹介。	その他の脳炎、脳症疑い	重篤	化血研 L53C	不明	調査中	

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)	専門家の意見
28	30代・女性	無	ワクチン接種後、接種部位の発赤・腫脹が出現し、数日間継続。左頸部から左肩にかけての痛みを認め、ワクチン接種6日後受診。局所の安静の指示。ワクチン接種13日後、疼痛が増強し「重いものが持てない」との訴えあり、整形外科紹介。	その他の神経障害	非重篤	化血研 L49A	未回復	調査中	

製造販売業者からの報告

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)
1	10歳未満・女性	原疾患としてアイカルディ症候群、既往歴として熱性けいれんあり。	ワクチン接種6日後、発熱あり。けいれん発作認め、発作から約1時間後、医療機関搬送。けいれん重積状態であり、ミダゾラム注射液3mg(筋注)、ミダゾラム注射液3mg(静注)、ジアゼパム注射液5mg(静注)、ミダゾラム注射液3mg(静注)によりけいれん頓挫。けいれんは約1時間30分持続。ワクチン接種7日後、意識障害が遷延し、覚醒せず。脳派上は明らかな異常認めず、MRIでも異常なし。血液検査上、高CK血症およびGOT、GPT、LDHの上昇を認めるが、NH3値の上昇はなし。ワクチン接種8日後、意識障害続き、髄液検査施行するが異常なし。脳症の可能性を否定できず、ステロイドパルス療法を開始。ワクチン接種9日後、肝機能障害は改善傾向となるが、意識障害は持続。MRI検査にて異常所見あり、脳症と診断。	脳症 肝機能異常	重篤	北里研 FB022B	未回復	調査中
2	10代・男性	基礎疾患として高血圧あり。	ワクチン接種2時間後、嘔吐が出現。その後、昼寝。ワクチン接種4時間後、歩行時に力が入らずふらつき、ボーッとした様子あり。ワクチン接種9時間後、救急外来を受診。受診時、意識障害、麻痺、発疹なし。四肢の脱力、顔色不良あり。ルート確保。開始液(1)200mLを点滴投与。血液検査、頭部CT検査を施行したが、異常なし。しかし、症状の改善なく、入院。ワクチン接種1日後、意識清明。顔色良好。四肢脱力は普段よりもわずかに力が入らない程度に改善。軽快し、退院。	筋緊張低下-反応性低下発作	重篤	微研会 HA099A	軽快	調査中
3	10歳未満・女性	無	ワクチン接種6日後、右顔面麻痺出現。ワクチン接種7日後、入院。	第7脳神経麻痺	重篤	北里研 FB022A	不明	調査中
4	30代・男性	無	ワクチン接種14日後、髄膜炎が発現。入院。	髄膜炎	重篤	化血研 L43C	不明	調査中
5	50代・女性	外傷性脳出血、脳挫傷の既往歴があり、外傷性てんかん、甲状腺機能低下症、高血圧を基礎疾患として有する患者。脳挫傷(20年以上前に受傷)で失語症あり。平成22年4月に全身けいれんが発現し、抗てんかん薬を開始。9月より発現が頻回となり、9月14日、9月26日にも強直性けいれんを認めた。基礎疾患に対し、ソニサミド、レボチロキシンナトリウム、ロサルタンカリウム、アスピリンを服用していた。ソニサミドの血中濃度は正常範囲内であった。	平成22年11月4日 午後1時50分、インフルエンザワクチンを接種。10分経過観察、異常は認められず。同日午後11時30分頃、強直性けいれん(約2分間)が発現。回復後、尿失禁、落ち着きのなさ等の異常行動が一時的に見られたが、その後は問題なく経過。11月5日 午前5時30分頃、家族により生存を確認。同日午前9時頃、家族より連絡あり往診。心肺停止が確認された(死亡推定時刻11月5日、午前7時頃)。注射部位の腫脹、発赤は認められず。剖検なし。	痙攣	重篤	北里研 FM010C	死亡	調査中

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係(専門家評価)
6	40代・男性	無	ワクチン接種1日後、意識障害、発熱、頭痛、めまい、腹痛、吐き気が発現し医療機関受診。髄膜炎の疑いで神経内科に入院。	意識変容状態 発熱 頭痛 浮動性めまい 腹痛 悪心	重篤	化血研 不明	不明	調査中
7	30代・女性	無	ワクチン接種22日後、四肢にビリビリとした異常感覚があり、受診。ワクチン接種23日後、歩行時にふらつき、足が上がらなくなったため再受診。ギラン・バレー症候群を疑い、他院へ救急搬送。搬送時、酸素飽和低下。人工呼吸開始。γグロブリン大量療法、ステロイドハーフパルス療法開始(5日間実施)。ワクチン接種1ヶ月後、症状未回復(人工呼吸器装着中)。	ギラン・バレー症候群	重篤	デンカ 不明	未回復	調査中
8	10歳未満・女性	無	ワクチン接種1日後、顔面神経麻痺が発現。ワクチン接種10日後、未回復。	第7脳神経麻痺	重篤	化血研 不明	未回復	調査中
9	30代・女性	無	ワクチン接種2日後、脊髄炎が発現。入院中。	脊髄炎	重篤	化血研 L51C	不明	調査中
10	80代・男性	無	ワクチン接種3日後、四肢脱力感の為、救急搬送。救急隊が自宅に到着時は膝立ても困難な状態。医療機関到着時、少し動ける状態まで症状が緩和。CK値1750 IU/L、CRP値35 mg/dlのため、感染症が主原因にて入院。ワクチン接種4日後、CK値15523IU/L。ワクチン接種5日後、CK値11246IU/L。症状の進行は無く、掴まり立ちできる状態まで回復。現在入院中。	血中クレアチンホスホキナーゼ増加	重篤	北里研 不明	未回復	調査中

GBS,ADEMの症例報告数について

資料1-6
(参考)

医療機関からの症例報告数

報告内容	症例数	専門家の評価により副反応として否定できない (GBS/ADEMの可能性あり)とされた症例	症例数
GBS,ADEMの可能性のある症例*	28	GBS	1
		ADEM	1

製造販売業者からの症例報告数

報告内容	症例数	専門家の評価により副反応として否定できない (GBS/ADEMの可能性あり)とされた症例	症例数
GBS,ADEMの可能性のある症例*	10	GBS	調査中
		ADEM	調査中

※選択基準

- > GBS/ADEMの副反応名で報告された症例
- > 重篤副作用マニュアル③GBSの項に基づき、副反応名として「しびれ、脱力感、神経障害、筋力低下、物が飲み込みにくい」といったタームで報告された症例
- > 上記タームが経過欄に記載のある症例

専門家の評価によりGBSとして否定できないとされた症例リスト

No.	年齢	性別	基礎疾患	ワクチン接種からの日数
2	30代	男性	なし	12

専門家の評価によりADEMとして否定できないとされた症例リスト

No.	年齢	性別	基礎疾患	ワクチン接種からの日数
15	30代	女性	なし	12

(2010年11月30日現在)